

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	猪名川町 28301
地域名 (地域内農業集落名)	万善 (万善)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	13.45 ha
① 農業振興地域のうち農用地域内の農地面積	0 ha
② 田の面積	12.3592 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.0987 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	— ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	— ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

万善地区は、猪名川町の中央部に位置し、県道12号川西篠山線と県道68号川西三田線が交差し、地区内には「道の駅いながわ」があることから町内を訪れる方の観光拠点となっている。 地区の営農状況は、現状、個々の農家により営農継続できているが、後継者不足が課題であることから農地の受け手は確保していく必要がある。また、集落全域に獣害被害があるため対策が必要である。 未整備地区であり、農道が狭く機械の大型化ができないことや田越での作業、水路の老朽化や排水など圃場条件の改善も課題となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

個人での営農を継続しつつ、地区内の担い手への集積など地域農業が活性化するよう協議を続ける。 栽培作物は、水稻を中心としつつ黒豆、野菜など高収益作物への転換を検討する。 飼料用米の導入や二毛作の検討により収益向上を目指す。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
小規模農地の集約化を進め、耕作放棄が発生しないよう対策を行う。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	17.8	%	将来の目標とする集積率
			17.8 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地化を進めるよう協議を継続する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組	
規模拡大意向などがあれば、集団化できるよう協議を行う。 また、圃場整備を見据え担い手への集団化を進める。	
(2)農地中間管理機構の活用方法	
農地の貸借が発生する際は、基本的に農地中間管理機構を活用する。	
(3)基盤整備事業への取組	
圃場条件の改善のため、圃場整備を推進する。また、既存施設の老朽化が課題であることから、修繕・改修について協議を行う。	
(4)多様な経営体の確保・育成の取組	
地区内では、NPO法人が農業研修などを実施している。 チャレンジ農業者の育成を行う。	
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組	
高齢化に伴い、作業の一部委託等検討する。	

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)				
☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①獣害柵の設置や対策方法等について、関係機関と連携し積極的に取り組む。
③高齢化・人手不足により農作業が負担となっていることから、機械化・スマート化を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
計	20経営体		6.424 ha	0 ha		6.424 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	10年後 (目標年度:令和16年度)				目標地図上の表示	備考
	経営面積	作業受託面積	経営面積(ha)	作業受託面積		
1 利用者	0.09		0.09		3001	
2 利用者	0.13		0.13		3002	
3 利用者	0.22		0.22		3003	
4 利用者	0.11		0.11		3004	
5 利用者	0.41		0.41		3005	
6 利用者	0.03		0.03		3006	
7 利用者	0.03		0.03		3007	
8 利用者	0.21		0.21		3008	
9 利用者	0.28		0.28		3009	
10 利用者	0.72		0.72		3010	
11 利用者	0.26		0.26		3011	
12 利用者	0.20		0.20		3012	
13 利用者	0.00		0.00		3013	
14 利用者	0.43		0.43		3014	
15 利用者	0.30		0.30		3015	
16 利用者	0.17		0.17		3016	
17 利用者	0.00		0.00		3017	
18 認農	2.10		2.10		3018	
19 認就	0.28		0.28		3019	
20 利用者	0.45		0.45		3020	
21 利用者						
22 利用者						
23 利用者						
24						